



FLOWER BULBS SINCE 1955

株式会社 中村農園

NAKAMURA-NOEN CO.,LTD.

〒781-0270 高知県高知市長浜 5381
5381, Nagahama, Kochi 781-0270, Japan

☎0120-874195 (ハナヨイキューコン)

Tel. (088)841-1311 Fax. (088)841-0603

E-mail: info@nfb.co.jp URL: http://www.nfb.co.jp

お客様各位

情勢報告

2025年5月15日

株式会社 中村農園

中村慶吾

いつもお世話になっております。オランダ産についてご報告申し上げます。

① オランダ産新球の輸入状況について

2024年オランダ産（フランス産含む）の月間輸入球数は、下表の通りです。

	2022年産	2023年産	2024年産	対前年
12月	316,600	659,300	0	0.0%
1月	7,066,430	3,467,100	6,211,351	179.2%
2月	12,410,806	12,400,542	9,794,354	79.0%
3月	13,443,511	12,468,607	6,605,758	53.0%
4月	8,636,580	8,349,400	12,695,970	152.1%
12月～4月合計	41,873,927	37,344,949	35,307,433	94.5%

1月輸入の多くは鉄砲・LAと思いますが、オリエンタルOTが増える2月3月が過去2年に比べ大幅に減少しており、4月輸入（入荷）が多かった事がわかります。近年、球根生産者の集約と大型化、現在のアフリカ喜望峰経由の航路などにより、オランダ新球の入荷時期は遅れており、南半球産がカバーする範囲が広がりつつあります。

② 2025年オランダ産について

トランプ関税などを含む世界経済情勢、為替のユーロ高、そしてオランダ国内の切花単価の高さに刺激を受けた球根相場の過熱などから、輸出会社は仕入れを慎重に進めています。オリエンタル・OTの取引は、球根生産者の希望が高すぎるため、日本を含め世界的にもまだスタートできていない状況で、もうしばらく時間を要しそうな雰囲気です。

LAに関しては日本の主要産地が相場を許容し、メイン需要である南米の国々に先駆けて取引が始まりました。エバートン、カバリアなど黄色で減少が大きい品種があり、それらは将来的に生産が続くかも心配されますが、一方でケスラーなどTA品種の生産が増加しています。弊社では、現時点では鉄砲とLAのみの「見込み価格 及び 暫定在庫表」などで状況をご案内しながら、来年のご計画について個々にご相談させていただいております。